軍神と偽りの花嫁の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	軍神と偽りの花嫁の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	軍神と偽りの花嫁を読んだことのある10代～50代の男女34名
調査期間	2025年5月8日～2025年5月9日 2025年5月28日～2025年5月29日 2025年7月24日～2025年7月25日 2025年8月25日～2025年8月26日 2025年9月26日 2025年10月24日 2025年11月27日 2025年12月27日 2026年1月25日 2026年1月26日 2026年2月26日 2026年3月26日 2026年4月24日 2026年5月26日 2026年6月26日 2026年7月24日 2026年8月31日 2026年9月27日 2026年11月2日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/gunshintoituwarinohanayome/

■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：軍神と偽りの花嫁を実際に読んだ感想を教えて下さい。

Q1：年代と性別を教えて下さい。

10代男性	1人
10代女性	0人

20代男性	0人
20代女性	0人
30代男性	6人
30代女性	1人
40代男性	11人
40代女性	0人
50代男性	15人
50代女性	0人

Q2：軍神と偽りの花嫁の感想を教えて下さい。

『軍神と偽りの花嫁』1話～5話	明凛と煌明が少しずつ心の距離を縮めていく様子にドキドキしつつ、何が起こるかわからない不穏なストーリーに引き込まれました。煌明は今のところ人物像が明らかになってはいませんが、壮絶な過去を抱えているような雰囲気は感じます。最初は明凛に冷たいように見えましたが、少しずつ優しい部分が見えてくるので読んでて心がほっこりしまひた。
『軍神と偽りの花嫁』1話～5話	この作品の主人公明凛に注目してほしいですね。彼女は仙女の家系に生まれながらも力がなかったことで家族達から疎まれてしまうのですが、それでも前向きに頑張ろうとする心意気がとても魅力的でしたね。こういうメンタルのヒロインがとても大好きだったのですぐに話にのめり込むことができました。悲劇のヒロイン感を強く感じられるそんな内容で非常に面白いです。
『軍神と偽りの花嫁』1話～5話	嫁ぐ夫に怖い噂があるけど、実際にあってみるとハイスペックイケメンだった、という話は数多くあれど、本当に狩った虎を片手に現れるヒーローがいるとは思いませんでした。有能なヒロインがひどい扱いをされるところからのシンデレラストーリーですが、本当に医学に精通している有能な人なので、ヒーロー同様に、ヒロインの活躍にも期待できます。
『軍神と偽りの花嫁』6話～10話	明凛の姉である仙凛の性格の悪さが伝わってくるエピソードが多く、早く痛い目にあえばいいのにと思いつつ読みました。嫌みを言われる明凛を煌明がかばってあげたり、彼の優しさがどんどん強くなっているような気がして、やっぱり二人はお似合いだと思いました。さらにその後も明凛のピンチの時には必ず煌明が駆けつけてくれて、まさにヒーローみたいだと思い感動しました。
『軍神と偽りの花嫁』6話～10話	明凛の姉が本当に嫌な人物として描かれているのでそこばかりに目がいってしまいましたね。でも姉の卑しい姿を見れば見るほど明凛が本当に聡明で可愛らしく見えてくるのでいてくれてむしろありがとうと言いたいですね。姉が煌明に近づく場面があるのですが姉の歪な性格を煌明はちゃんと見抜いているところもすごく興味深かったですね。
『軍神と偽りの花嫁』11話～15話	作中、煌明が傷を負ってしまう場面があるのですがそこでのドキドキ感たるや半端なものではありません。浅い傷だといっていましたがどう見ても深そうですね。でも煌明の毅然とした態度がより格好良さを演出していたので俄然目が離せませんでした。やはり明凛の姉はかなりのトラブルメーカーですね。彼女がいるとろくなことにはなりません。
『軍神と偽りの花嫁』11話～15話	煌明が傷を負ってしまっても明凛がなんだかすごく冷静だったことがとても興味深く映りましたね。正直もっと取り乱すかと思ったのになんだか淡々としていてちょっと違和感でした。でもきっと煌明が明凛に対して心配をかけまいとしていたからだと解釈したので煌明はやっぱりすごい人材だとつくづく思いましたね。見ていてより煌明に好感が湧きました。
『軍神と偽りの花嫁』16話～20話	仙琳と明凛が仙女対決をするまでの流れを描いていて、二人の因縁がいよいよ決着を迎えるワクワク感を味わえるのが良かったです。ただし明凛は結構不利な状況に置かれているので、その状況をどうやって打破するのかが気になりました。そして実際の仙女対決ではまさかの展開が巻き起こり、最後まで予想できないことの連続で面白かったです。

『軍神と偽りの花嫁』16話～20話	この辺りのエピソードが一番面白いですね。まさか仙女の力の存在が迷信だったという展開には驚きを隠せませんでした。ずっと信じ込んでいた家族達は一体何を信じていたのでしょうか。本当に今までの出来事が走馬灯のように巡りましたね。明凛もこんなに酷く迫害されることもなかったのではないでしょうか。本当に驚きです。
『軍神と偽りの花嫁』21話～25話	本当に煌明がようやく明凛に気持ちを伝えられたことが良かったですね。2人がめちゃくちゃお似合いなので見ていてかなりほっこりできること間違いなしです。個人的に明凛の反応の部分も可愛らしいですね。2人の何気ないやりとりがこの先の運命を暗示しているような気がして凄くドキドキできましたね。煌明の表情に明るさが戻ったような気がします。
『軍神と偽りの花嫁』21話～25話	今まで明凛に対して酷いことを連発していた姉なので絶対に因果応報めいた出来事が待っていると思いましたがその通りになりましたね。なんだか爽快感よりも謎の切なさを強く感じましたね。嫉妬というものはやはり何も生まないものだと痛感しました。もっと寛容な心で明凛に接していれば姉もきっと幸せになれたのにと思ってしまいました。
『軍神と偽りの花嫁』26話～30話	煌明と明凛がやっと正式に結ばれて、読んでて凄く幸せな気持ちになりました。正直今までも付き合っているような関係でしたが、二人がしっかり気持ちを伝えあったのは初めてのような気がします。しかし、そんな順風満帆にいくわけもなく、皇帝の悪巧みがどんどん見えてきます。とりあえず明凛は皇帝に騙されず、煌明と一緒に幸せになってほしいです。
『軍神と偽りの花嫁』26話～30話	煌明と明凛のイチャイチャ具合が本当に可愛らしいですね。美男美女の2人だからこその魅力がこの中に溢れていますね。やっぱりいろんなことが2人の間には起きていたので、ふとイチャイチャを見ているとすぐに誰かに邪魔されるのではないかと心配してしまいます。でも今回はなんとか大丈夫だったので助かりましたね。2人が幸せになってくれることを切に願います。
『軍神と偽りの花嫁』31話～35話	皇帝は明凛にアプローチしまくっていますが、やはり煌明には勝てないと思います。そもそも明凛と煌明は固い愛で結ばれているので、皇帝は邪魔物でしかないように思えました。明凛も強く成長しているので、皇帝に誘導されていると見せかけつつ、裏をかこうとしているのがカッコ良かったです。ただ皇帝も本当に悪いやつではなく、いろんな事情を抱えているのがわかって複雑な気持ちになりました。
『軍神と偽りの花嫁』31話～35話	作中に出てくる皇帝の姿に注目ですね。かなりの権力者なので凄く調子に乗っているように見えるのですが本当に独特の空気感を纏っていで笑えますね。見方を変えると気持ち悪い感じにも見えてくるので必見です。完全に自分が中心になって回っていると思い込んでいる感じで明凛に接近してくるのでその場面はとても面白いですね。
『軍神と偽りの花嫁』36話	本当にこの作品はドキドキが収まりません。煌明の近くにはやはり明凛がいてほしいですしその逆も然りです。やっぱり2人は運命的な何かで結ばれているので邪魔しないでほしいですね。でもそう簡単に行かないのがこの作品なので常に不安が押し寄せます。お風呂に入って仲を深めている姿など見どころ満載で本当に目が離せないこと間違いなしです。
『軍神と偽りの花嫁』36話	煌明と明凛のイチャイチャぶりが少しだけ垣間見えるのでそこは本当にいいですね。1エピソードに一回くらいは出してほしいのですが、そうもいかないですよね。煌明のちょっと照れている雰囲気が彼の魅力をさらに倍増させていると感じましたね。やはり煌明は明凛と話している時が一番穏やかな感じに見えますね。凄く魅力に溢れています。
『軍神と偽りの花嫁』37話	衝撃的な展開で驚きました。霧芳が暗殺者だったこともそうですが、それを許した煌明もすごいですね。自分が殺されかかっただけではないわけですし、普通なら問答無用で死罪とするところでしょう。私怨に溺れず、霧芳を活かそうする姿勢には驚きました。一方霧芳の覚悟が本気だというのも伝わってきました。でなければ痺れの副作用があるかもしれない薬を飲むなんて出来ません。紆余曲折ありましたが、煌明サイドもまとまってきたように思います。ただ他にも内通者がいるようなので、油断は禁物。この窮地をどのように凌ぐのか楽しみです。
『軍神と偽りの花嫁』41話～42話	霧芳が裏切り者でなくて一安心しました。経緯が経緯だけに、本当に味方になったのか信じきれていない。そんな状況で起こった事件だけに、霧芳のことを疑ってしまっていたので。煌明の活躍っぷりは目覚ましいものがありました。まさかここまで圧勝してしまうとは。呪われた将軍と敵から恐れられているのは伊達じゃないと実感しましたね。暗殺シーンではヒヤっとしましたけど、終わってみれば結果オーライ。

	改めて煌明の凄さがわかりましたし、面白かったです。
『軍神と偽りの花嫁』43話～44話	愛馬の素晴らしい活躍に心が温まりました。煌明は明凛と過ごしたいものの、立場がそれを邪魔してしまいます。そんな煌明の気持ちも知らずに邪魔をする兵達が多い中、優しい気遣いを見せる愛馬がとても素敵でした。気になったのは幕舎の見張りが不足しているところです。一応勝利を収めましたが、戦場では油断出来ません。勝って兜の緒を締めよという言葉もありますし、もう少し警戒した方がいいのではと心配になりました。
『軍神と偽りの花嫁』45話	煌明が明凛を想う気持ちが伝わってきて、とても良かったです。部下に引き止められた時には、木刀をへし折るほどの力を見せていましたが、それは一刻も早く明凛に会いたいという気持ちからでした。霧芳を取り押さえる場面も同様です。自分より戦闘力が劣る霧芳に対して本気になる必要はないはずですが、それだけ明凛を深く愛しているのだと感じられて、心が温かくなりました。
『軍神と偽りの花嫁』46話	平穏無事に終わりそうでよかったです。明凛は陛下から咎められると思っていたので、ホッとしました。最悪の場合、これが内乱の火種になることすらありえたのですから。煌明が陛下ともめることはなくなったでしょうし、一安心です。意外だったのは霧芳への信用度です。二人で一緒にいる姿も見かけましたし、てっきり明凛は心を許しているのかと思っていたんですよね。それだけにここまで警戒しているのは意外でした。
『軍神と偽りの花嫁』47話～48話	陛下が優しすぎたから、暴君になってしまったんでしょうね。自分が悪いというのに、罰せられるのは霧芳。この歪な罰の与え方が陛下の心に深い傷を与え続けてしまったんだと思います。師博に悪気はなかったとは思いますが、陛下にあった教育をしてくれていればと残念に感じました。気がかりなのは霧芳の行動です。すっかり明凛達の陣営に加わったと思っていたので、この展開は想定外。霧芳は何を考えて明凛達を裏切ったのか、注目したいです。
『軍神と偽りの花嫁』49話～50話	霧芳は味方になったのだと思っていただけに、衝撃でした。明凛達と楽しそうに話していましたけど、それは上辺だけのことだったんですね。笑顔を浮かべながらも、すべては陛下の為だったとは。非常に残念です。気がかりなのは、煌明がどう対応するかということ。確かに明凛は弱みの一つだと思います。しかし、娶ってしまった場合、それが成立するとは思えません。むしろ、妻を奪われたことに怒りを感じるのではないでしょうか。煌明がどのような行動を起こすのか注目したいです。
『軍神と偽りの花嫁』51話～52話	陛下の強引さに驚きました。いくら明凛を自分のものにしたいからといって、ここまでするのかと。もう少し違ったやり方があったでしょうし、ガッカリしました。一方で、煌明の活躍ぶりは気持ちよかったです。奇襲ならともかく、霧芳は煌明が来ることを予想して防御陣を敷いていました。にもかかわらず、単騎で突破して見せたのです。無人の野を行くが如く突き進む姿に惚れ惚れしました。
『軍神と偽りの花嫁』53話～54話	陛下には驚かされました。片腕を切り落とされたのです。ショックのあまり立てなくなってもおかしくはありません。しかし、陛下は恐れるどころか、むしろ威圧的な雰囲気を漂わせていました。なんだかんだと、国の頂点に位置するだけのことはありますね。煌明たちのこれからが気になります。拠点にしようと考えていた篠の村は壊滅してしまいました。そうなると、次はどこへ避難するのでしょうか。これまで指揮してきた軍隊が煌明の命令に従ってくれればいいのですが。今後の動きに注目したいと思います。
『軍神と偽りの花嫁』55話	人の繋がりとは不思議なものだと感じました。そもそも現在の状況で、仙女や医術に関する本を手に入れられること自体が奇跡に近い出来事です。しかも、その本を書いたのが明凛の父親であり、さらに篠を助けていた人物でもあったという点には、どこか運命的なものを感じさせられました。一方で、明凛の父親が生きている可能性が出てきたことも喜ばしい展開です。単に再会の期待が高まるだけでなく、仙女や医術に関する重要な手がかりを得られる可能性も広がったと言えるでしょうし、今後の展開が気になりました。
『軍神と偽りの花嫁』56話	明凛のおっちょこちょいさが面白かったです。沼の存在にまったく気づかず落ちてしまうならまだしも、事前に察知していたうえで、しかも野山に慣れている明凛がはまってしまうとは。状況はシリアスなのに、どこかコミカルに感じてしまいました。緊張感とユーモアが同居したシーンだったと思います。無事に助かったのは何よりですが、その代わりに篠たちと分断されてしまったのは気が

	かりです。さらに、不穏な獣が二人を見つめている描写もあり、状況は決して楽観できません。このまま無事に切り抜け、篠たちと合流できるのか注目したいです。
『軍神と偽りの花嫁』57話～58話	予想外の展開で、かなり驚かされました。石寿洞へ明凛の父が向かったことは事実なのでしょう。しかし、それは昨日今日の話ではありません。過去に明凛の父が立ち入った形跡を発見できるにすぎないだろうなと思っていました。それだけに、実際に明凛の父が姿を現した瞬間の衝撃は大きいものでした。一方で、明凛の父の言葉が気になります。煌明が明凛を愛しているということは、まぎれもない事実。そのことは、自白剤のような効果によって嘘をつけない状況を作った明凛の父がよく理解しているでしょう。にも拘らず、なぜ離縁を求めるのでしょうか。その言葉の裏に、単なる感情論では済まされない、何か重大な事情が隠されているように感じました。
『軍神と偽りの花嫁』59話～60話	明凛の父は少し卑怯だなと感じました。確かに、彼の言い分は理解できます。煌明と一緒にいれば、明凛だけでなく煌明までもが大変な状況に巻き込まれる可能性があるでしょう。しかし、それは煌明一人の問題ではありません。明凛と煌明、二人で向き合うべき問題です。だからこそ、父親が煌明だけを呼び出して別れを求めたことに納得できませんでした。
『軍神と偽りの花嫁』61話～62話	明凛の父は独りよがりのように感じました。確かに、娘である明凛を心配する気持ちは理解できます。しかし、明凛はもう大人であり、自分のことは自分で決められます。明凛の父は良かれと思ってしていることなのでしょうが、それは違うだろうと感じました。一方で、煌明の行動も気になりました。明凛は煌明と一緒にいることを選びましたが、煌明の決断は異なっていました。本当にこのまま煌明は明凛と別れる選択をするのか、注目したいと思います。
『軍神と偽りの花嫁』63話～64話	離縁が偽りであるとわかって、一安心しました。経緯が経緯だけに、煌明が別れを告げた時は本気で離縁するつもりなのだろうと感じたので。しかし、煌明に全くその気がないことはわかりましたし、明凛の父もこれに賛同してくれたのでホッとしました。
『軍神と偽りの花嫁』65話	結果はどうあれ、明凛の対応は見事でした。いくら相手の油断を突いたとはいえ、普通はここまであっさりと捕まえられないと思います。それに、躊躇することなく決断して見せたところも、なかなかできるものではありません。昔に比べるとすごく成長したんだなと感心させられました。
『軍神と偽りの花嫁』66話	少年と男の関係は、なかなかわかりづらいですね。ただ一つ言えるのは、少年が目覚めた時に口にした言葉こそが重要なのではないでしょうか。目覚めたばかりの時は、まだ頭が十分に働かないものです。だからこそ、その時に口にした言葉は嘘偽りのないものだったりします。つまり、少年にとって男は仕えるべき存在であり、敬意も抱いているのではないかと感じ取れました。実際のところ、二人がどういう立場の人間で、そしてどういった関係なのかが気になりますね。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス